

地区別市政懇談会 当日質疑応答要旨一覧 北地区  
平成29年11月18日(土) 北公民館

第1部(1) 地域のまちづくり計画について  
取組状況報告: 企画課長 (別紙)  
質問・要望・意見 なし

第1部(2) 地域の課題として事前にあげられたテーマについて

	質問内容	当日の回答	回答者	補足、現在の状況・今後の対応等	担当課
1	新東名サービスエリアの工事進捗状況について	<p>このエリアでは、引き続き埋蔵文化財発掘調査が行われている。調査面積は約10万㎡の膨大な面積で、現在、約40%(4万㎡)が完了しているが、遺物が多く、時間を要している。本市域は発掘調査を必要とする面積が広く、かつ遺跡が何層にもわたり豊富に残存しているとのことで、県教育委員会に対し「調査体制の強化」や「調査効率の向上」を要望している。他財団からの発掘担当者の出向で班編成を増やし、現在、32班くらいで対応しているとのこと。</p> <p>工事の進捗状況は、各工事区域をつなぐ工事用道路を施工中で、矢坪沢の仮橋工事、盛り土工事を行っている。</p> <p>現在、土砂の搬出入等のためダンプトラックが運行しているが、本線内(事業区域内)を通行する工事用道路を建設中であり、平成30年6月頃の完了を目途に進めている。この工事用道路完成後は、本線内での土砂運搬等が可能になるため、市内を通行するダンプトラック等は減少するとのこと。工事用道路が通行可能になるまでは、ご理解、ご協力をお願いします。</p>	国県事業推進課長	当日の回答に同じ	国県事業推進課
	遺物が多く出土しているとのことだが、全体的なスケジュールは予定通りなのか、遅れているのか。	<p>8月の中日本高速株式会社の記者会見内容は次の通り。海老名南JC～厚木南ICは、今年度開通に向け舗装等の準備に入っている。厚木南IC～伊勢原北ICは、30年度開通予定だが、埋蔵文化財調査の関係で、遅れてはいるが検討の時期に入ってしまった。伊勢原北IC以西は、32年度全線開通に向けて事業を進めている。</p>	国県事業推進課長	<p>1月28日に海老名南JCT～厚木南ICが開通しました。</p> <p>本市域については引き続き平成32年度開通にむけて事業中の状況です。</p>	国県事業推進課

2	市道52号線の全面舗装について (昨年は「予算化する」との回答だったが、その後の進捗状況について聞かせて欲しい。)	市道52号線は2級市道で、地区内の交通の骨格となる重要な路線と考えており、老朽化がだいぶ進んでいることから、市道23号線(渋沢駅落合線)交差点から県道705号線交差点、戸川駐在所前までの約1,250メートルの全面舗装を今年度実施することになった。来週11月22日に契約を締結する予定で、現在、契約手続き中。工期は、平成30年3月5日までを予定。	建設管理課長	当日の回答と同じ	建設管理課
	52号線は大型トラックの通行も多く、よく家が揺れる。どうせ舗装するなら、大型にも耐えられるように厚めの舗装にしてほしい。	二車線の道路なので、下の路盤、砂利層にはそれなりの厚みが入っている。5cm程度の舗装を予定しているが、全面舗装により、振動の原因となる、経年劣化による段差が解消される。	建設管理課長	当日の回答と同じ	建設管理課
	52号線は、今度の準工業地帯指定の関係もあり、より重要な役割を果たす道路になっていくので、力を入れて整備してほしい。(司会より)	《要望》			建設管理課
3	市道52号線諏訪丸地区の違法駐車対策についてこの数年、何度も課題になっているが、何の進捗も見られない。今年も同じ質問になるが、どのような状況か聞かせてほしい。	以前から課題になっている現場で、秦野警察署、平塚土木事務所等の関係機関で協議を続けてきた結果、試験的ではあるが、風の吊橋を中心に約350メートルの区間に、移動可能な仮設ガードレールを使って、道路幅の規制を行うことにした。11月9日から始め、風のつり橋の前後約100mに設置済み。残りの250mについては、引き続き今年度中に設置予定。この措置は実証実験なので、1年間程度状況を確認し、その結果を受けて、歩道の整備等を検討していきたい。また、戸川公園の利用者には、県とともに、諏訪丸公園駐車場の利用を誘導する。	建設管理課長	当日の回答と同じ	建設管理課

3	市道52号線諏訪丸地区の違法駐車対策についてこの数年、何度も課題になっているが、何の進捗も見られない。今年も同じ質問になるが、どのような状況か聞かせてほしい。	(補足説明) 「戸川公園」と書かれた大きな石が設置された上の方は、道路幅が広いので路上駐車が多く、山仕事で入る人等が迷惑している。そこで、道路幅を狭く(4.5m)すれば、横をすれ違えなくなるので駐車しなくなるだろうと、警察や公安委員会と検討を行った。その効果を見て、今後さらに検討することだが、これまでの回答と比べて、大きく進歩した回答だ。	まちづくり 会長		建設管理 課
	諏訪丸の駐車場が有料になってから、違法駐車が増えた。初め無料だったものを有料化するとき、そのような事態は想定したのか。市に尋ねることではないかもしれないが、迷惑しているのは市民なので、市としても何らかの対策を検討してほしい。	これは、県の平塚土木事務所の道路都市課が管理している。駐車場の有料化の問題については、何度か出向いて話をしているが、今後も引き続き調整していく。	国県事業 推進課長	当日の回答と同じ	国県事業 推進課
4	消防団第4分団第1部(菩提)の建替えの進捗状況について	平成28年6月7日、関係自治会及び第4分団幹部を対象に説明会を開催し、それまで難航していた候補地について、北郵便局付近に目途が付いた。これを受けて土地所有者との交渉に入ったが、市の希望する建築場所が、所有者の考えと違ったため時間がかかったが、ようやく承諾を得ることができた。 本年6月に土地所有者から「土地売渡承諾書」が提出されたのを受け、9月の第3回市議会定例会に用地買収のための補正予算案を提出し、議決された。 今後は、今年度中に用地買収を完了し、来年度予算を確保し、新築並びに既存建物の解体を予定している。	消防総務 課長	当日の回答と同じ	消防総務 課

5	<p>数年来、水無川のうぐいす橋下流域への観光客によるゴミの不法投棄問題について、防止対策を市に要請してきたが、改善されないので、新たな対策を立てて欲しい。</p>	<p>この主な原因として、5月から8月にかけて、河川敷でのバーベキュー後のごみを片付けないことが考えられる。</p> <p>今年度も、不法投棄防止キャンペーンや、市内の事業所や財産区議会議員等によるゴミ収集協力、市の美化指導員による月2回の定期的なゴミの回収を行い、従前よりは状況が改善されてきたと感じている。また、一方、河川への立入制限等の物理的な規制については、河川管理者である神奈川県によると、自然体験や人々の交流の場(水遊び・バーベキューなど)としての役割の中で、「自由使用」が基本的な考えであり、現在のところ規制の予定はないとの回答だった。市としては、今後も関係各所と連携を深めながら、定期的なパトロールや不法投棄キャンペーンを実施し、引き続き「ごみの持ち帰り」マナーの向上を呼びかけていく。</p> <p>新たな対策としては、①新たに監視カメラを設置しなおす。②左岸線(うぐいす橋から上流の戸川側)の管理通路の、駐車制限が可能なかを県と調整している。</p>	環境資源対策課長	当日の回答に同じ	環境資源対策課
		<p>新たな対策②について、水無川管理者の平塚土木事務所と打ち合わせをしたところ、不法投棄等の問題を考慮し、通行止めなどの制限をすることも今後検討していくが、土木事務所管内の調整や、新東名工事との兼ね合いもあるので、多少時間がかかってしまうとの回答だった。</p>	国県事業推進課長	当日の回答に同じ	国県事業推進課
6	<p>市道153号線(JA北支所から北幼稚園の間)の拡張整備の進捗状況について</p>	<p>昨年度は、JA北支所に隣接する用地の取得を行い、菩提橋から約40mの区間の改良工事を実施した。</p> <p>今年度は、153号線道路改良事業の予算として、用地費や工事費等を確保することが出来た。</p> <p>現在、引き続き用地の取得のため関係権利者と調整を進めているが、相手方の状況等もある。出来るだけ早い道路拡幅工事実施に向け全力を尽くしているので、今しばらく見守っていただきたい。</p>	道路整備課長	当日の回答に同じ	道路整備課

6	市道153号線は、通学通園路として多くの子どもたちが通っている。今年度は用地買収を行っているとのことだが、ぜひスピードダウンしないように力を入れて、早く完成させてほしい。	《要望》		関係権利者と調整を進め、用地の取得を行い、唐沢川沿いの樹木の伐採を行った。 平成30年度は、引続き工事を実施する予定。	道路整備課
7	戸川地区の準工業地設置計画全般の進捗状況について	<p>昨年度、地元の地権者有志による「まちづくり勉強会」が、市も同席して4回開催され、地域の位置付け、事業の仕組み等の理解を深めながら、地元の合意形成に努めた。</p> <p>今年度は、まちづくり検討会(委員12名)により具体的な検討が行われ(4回)、11月5日に、全地権者に対して、これまでの検討状況や準備組合設立に向けた説明会を行った。</p> <p>市としては引き続き、産業利用促進ゾーン及び事業化を図る構想路線も含めて、県等の関係機関と協議を行っており、平成32年度の新東名開通に合わせての事業着手に向けて進めていきたい。</p>	都市政策課長	当日の回答に同じ。	都市政策課
8	諏訪丸地区の有効活用(秦野SA(仮称)スマートICを活かした周辺土地利用構想の進捗状況)について	<p>諏訪丸地区は、市の土地利用構想の中で、「地域振興・ふれあい交流ゾーン」に位置付けており、自然環境を生かして観光や農業・スポーツ・レクリエーション機能の導入を目指すもので、戸川公園とも連携しながら、新東名上りサービスエリア周辺の重要な拠点となる地区と考える。</p> <p>現在、農業関連では、地場産品等の販売や観光農業等の推進に向け、先進事例の調査や農協等の関係団体との協議を重ねている。また、県の「農産物観光資源化促進事業」の対象地域の指定を受け、地権者、耕作者と一緒にワークショップ等も動き出している。</p> <p>まだ具体的な絵には至っていないが、SA、スマートIC周辺の土地利用については、北地区の魅力を高める一つの大きなポイントと考え、本市の更なる発展へつながる千載一遇のチャンスであると認識している。</p>	企画課長	当日の回答に同じ	企画課

9	<p>本年は干ばつで、農業従事者は渇水で苦勞しているが、渇水時における市民への水利について</p>	<p>本市では、水田への農業用水の多くは河川から取水しており、今年も過去に例のない干ばつで、菩提地区の一部では稲作ができなかった、ということも承知している。</p> <p>北地区では、水無川の上流の、上水道の水源として取水している「猿渡堰堤」の下流、「山の神堰堤」から戸川用水を取水している。</p> <p>渇水時の水利については、水田に必要な用水量の確保が難しい状況となり、同時に、取水量の減少により水道水の供給量が減少し、市民の皆様に対し給水制限をお願いすることになる。そのため、上下水道局と調整のうえ、市のホームページや広報等で、市民の皆様に対し水道水の節水のご協力をお願いし、猿渡堰堤での取水量の削減に努める。</p> <p>いずれにしても、限られた水資源なので、皆様と分けて分け合いながら使っていただきたい。</p>	<p>森林づくり課長</p>	<p>当日の回答に同じ</p>	<p>森林づくり課</p>
---	---	---	----------------	-----------------	---------------

第2部 市政全般について

	質問内容	当日の回答	回答者	補足、現在の状況・今後の対応等	担当課
10	堀戸大橋交差点は、川沿いの道路には右折信号があるが、坂から下ってきた車や橋を渡ってきた車に対しては右折時間がないため、無理に突っ込む車があり事故が多発している。右折信号の設置を要望する。	設置には警察との協議が必要で、窓口のくらし安全課に伝える。	防災課長	秦野署には既に協議しているが、朝晩の交通量等を調査の上必要となれば公安委員会に上申することのこと。	くらし安全課
11	矢坪沢地区でイノシシの被害が増えており、通学路にもなっている市道51号線周辺にも出没している。新東名工事や埋蔵文化財発掘調査との関連があるように思われるが、早期の対策をお願いする。	矢坪沢周辺でイノシシや鹿の被害が増えていることは聞いている。新東名工事に伴い、矢坪沢に張られていた柵が撤去されたことが原因の一つと思われるが、侵入経路は確認できていない。今、どこまでできるかは言えないが、対策を講じるように担当課の農産課と環境保全課に伝える。	森林づくり課長	複数の自治会の方から、イノシシの出没について情報提供があったため、現地調査を行い地権者の協力を得て、わなの設置を行いました。設置したわなによる捕獲は出来ませんでした。付近に設置していたJAはだの箱わなで、2頭のイノシシが捕獲されています。(環境保全課) 矢坪沢周辺につきましては、今年2月に、地域の生産組合の方々が中心となって、防護ネットの張り替え等機能強化を実施しました。(農産課)	環境保全課 農産課
12	戸川原地区には60～65くらいの自治会加入世帯があるが、公園は一つもない。これから準工業地帯について検討することだが、その中に住民の避難場所確保のことも加えて欲しい。	現在、産業系土地利用については土地区画整理事業を主に調整を進めている。その中で、公的な空間いわゆる公園等の配置および面積等についても検討してほしいと考えている。	都市政策課長	当日の回答に同じ。	都市政策課
13	市道52号線は通学路にもなっている生活道路だが、朝の通勤時には、スピードを上げた車が信号待ちの子どもたちの横を通り抜けていき危険だ。自治会内の班別懇談会でも、この問題が数回取り上げられている。対策をお願いしたい。	担当はくらし安全課交通対策担当なので、警察とよく協議するように伝える。	防災課長	青色パトロールでの巡回や、地元の安全協会などの協力により図りたい。	くらし安全課

	唐沢川には色々な排水や汚水が流れてきており、季節によっては悪臭がする。小中学校より上流地域の本下水化の計画は無いのか。	公共下水道は市内の市街化区域の中だけの計画で、その中でも、避難場所になる学校や病院、今回は新東名のサービスエリアを重点地区として整備している。よって今お話のあった地区は、公共下水道の予定は無い。	経営総務課長	当日の回答に同じ	下水道施設課
14	今の計画が何年までのものか分からないが、下水道計画は少しずつ広げていくものだと思う。今後お願いしたい。 秦野は自然環境がいい、水がいい、と言っているが、当然、川もきれいな川でなければいけない。今後、新東名SAから多くの人々が来たときに、川の水が臭いでは印象を悪くするので、公共下水道の充実に取り組んでほしい。	昭和56年度から始めた公共下水道の整備が、ようやくほぼ終わったが、この40年間で約1200億円というとても大きなお金を投資した。市街化調整区域については、汚水の整備は行わないという基本方針で、平成22年度に下水道計画を変更した。 公共用水域の保全はとても大切な問題だが、これ以上整備投資しても、また大きな時間と金額がかかる。地域住民の負担にはなるが、合併浄化槽に切り替えて水質の保全を図っていきけるように促進していきたい。	経営総務課長	当日の回答に同じ	下水道施設課
	川の水質保全については、合併浄化槽に頼るしかないということは分かった。その普及を上げるために、市として、住民の調査等何か手を打たなければ進まないのではないのか。	合併浄化槽については環境産業部の担当になるのが、一つでも多くの方々に普及してもらおうよう、上下水道局も一緒に取り組んでいく。	経営総務課長	当日の回答に同じ	環境資源対策課営業課
15	戸川から渋沢駅までの道路に、自転車道の設置予定はあるか。特に島津製作所の前は歩道が狭くて危ない。	質問いただいた落合線のうち、堀戸大橋から菩提方面については自転車と歩行者が通れるようになっているので、お互い気を付けて通行してほしい。島津製作所の前の歩道は、街も出来上がっており、あえて自転車道を1レーン作る予定は無い。歩道の幅が大分大きくなってしまい歩行者に支障をきたしている状況なので、間引くことを検討している。	建設管理課長	当日の回答に同じ	建設管理課
16	渋沢駅前の市営自転車駐車場は、北地区からどのくらい利用しているか、アンケート等統計は取っているか。朝、現場を見てもらえば、自転車の多さが分かると思う。	駐輪場はくらし安全課の担当なので、アンケートについては後日連絡する。	建設管理課長	平成29年度の渋沢駅北口自転車駐車場に利用状況は、北地区736人、西地区383人、上地区18人、東地区2人、本町・南地区が各1人計753人	くらし安全課



17	<p>堀戸大橋の歩道は、濡れていると敷石がとても滑りやすく危険なので、改善してほしい。冬は凍ってしまい、さらに危険だ。</p>	<p>現地を確認し、どのような対策ができるか、調べてみる。</p>	<p>建設管理課長</p>	<p>平成30年1月末に、堀戸大橋欄干に4ヶ所の注意喚起看板を設置した。</p>	<p>建設管理課</p>
18	<p>地区別懇談会は、以前は夜に開催していたと思う。今日は参加人数が少ないようだが、夜の方が若い人たちが出やすいのではないか。</p>	<p>懇談会の開催については、皆さんの一番出やすい時間帯や曜日を検討している。夜の7時～9時は女性が出にくいとの意見もあり、地区の役員と相談し、昨年と今年は土曜日の昼間に開催した。一人でも多くの方に参加してもらい、意見を聞きたいと思っている。皆さんと相談しながら日時を決めていくので、ご理解ください。</p>	<p>市民活動支援課長</p>	<p>当日の回答に同じ</p>	<p>市民活動支援課</p>